



# Multiverse Public API

## 利用設定ガイド

作成日：2026/1/8 (Ver.1.00)

※本資料で使用しております画面の科目名等は、すべて架空のデータです。

※画面はイメージであり、実際の画面とは若干異なる場合があります。

株式会社 ネットラーニング

## 📌 はじめに

本ガイドは、Multiverse Public API を利用するための初期設定および基本的な利用準備を説明するものです。

企業管理者画面上で行う設定操作（連携サービスの登録、認証情報の確認）を中心に解説しており、API の詳細な技術仕様やプログラム実装方法については扱いません。

API の技術仕様や実装方法の詳細については、API ドキュメントおよび API リファレンスを参照してください。

なお、本機能のご利用には、別途ご契約が必要となります。ご利用を希望される場合はネットラーニング営業までお問い合わせください。

## 📌 ガイド構成について

操作・閲覧権限、申請の可否については、目次にあるアイコンを参照してください。

### 2.1 連携サービスの登録



Multiverse Public API（REST API）を利用するには、事前に連携サービスを登録する必要があります。連携サービスとは、API を通じて Multiverse（LMS）と連携する外部システム（例：人事システム、基幹システム等）を指します。↓

アイコン	説明
	オプション機能など、追加で申請・設定が必要な項目です。設定を希望される場合はネットラーニングまでお問い合わせください。
	「最上位管理者」が操作できる機能です。

# 目次

1	Multiverse Public API でできること .....	5
1.1	連携可能なユーザ情報 .....	5
2	API 利用設定.....	6
2.1	連携サービスの登録 .....	6
2.2	アクセストークンの発行 .....	7
3	API ドキュメント.....	8
	改訂履歴 .....	9

## 1 Multiverse Public API でできること

Multiverse Public API は、学習管理システム「Multiverse」と外部システムを連携するための公開 API（REST API）です。学習者情報の取得・登録・更新を自動化し、人事システムや基幹システムとの連携による運用効率化を実現します。

<主な利用目的>

- 人事システムとの連携により、社員入社時に学習者アカウントを自動作成
- 退職時や契約終了時に、学習者アカウントを自動で削除
- 組織変更や人事異動に伴う所属情報の自動更新

### 1.1 連携可能なユーザ情報

Multiverse Public API により、外部システムと連携可能なユーザ情報は以下の通りです。

ユーザ ID を検索キーとしてユーザ情報の登録（個別登録／一括登録）・更新・取得・削除が可能です。

操作種別	連携項目	*…必須項目
登録	氏名* / 氏名ふりがな* / ユーザ ID（企業識別子が先頭に自動付与）* / パスワード* / メールアドレス / 所属 / 役職 / 選択可能コース数 / 生年月日 / 言語種別コード*	
更新	氏名 / 氏名ふりがな / パスワード / メールアドレス / 所属 / 役職 / 選択可能コース数 / 生年月日 / 言語種別コード	
取得	氏名 / 氏名ふりがな / ユーザ ID（企業識別子が先頭に自動付与） / メールアドレス / 所属 / 役職 / 所属グループ / ログオン回数 / 最終ログオン日時 / 受講中コース数 / 選択可能コース数 / 生年月日 / 言語種別コード	
削除	—	

※ 本 API によるユーザ情報の登録・更新は新管理者画面の学習者登録・更新の項目およびルールに準拠しています。

※ 登録操作については最大 10 件まで一括登録することが可能です。

※ 「取得」は、Multiverse に登録済みのユーザ情報を取得・参照する操作を指します。

※ 「削除」は、Multiverse に登録されている学習者情報を削除する操作です。削除を行うと、該当ユーザの学習データ等も削除されますので、処理時または API 設計時には十分ご注意ください。

※ グループ管理機能における所属グループの登録・更新はできません。すでに Multiverse に登録されているユーザの、所属グループ情報の取得は可能です。

※ パスワードは「企業別パスワード設定」や「パスワードハッシュ化設定」に基づいて登録・更新ください。

## 2 API 利用設定

Multiverse Public API の利用設定についてご説明します。

本機能は、新管理者画面より設定を行います。

### 2.1 連携サービスの登録



Multiverse Public API (REST API) を利用するには、事前に連携サービスを登録する必要があります。連携サービスとは、API を通じて Multiverse (LMS) と連携する外部システム (例：人事システム、基幹システム等) を指します。

連携サービスは最大 5 つまで登録可能です。

この登録により、API 認証に必要な client\_id および client\_secret が発行されます。

The screenshot shows the 'REST API 利用設定' (REST API Utilization Settings) page. On the left is a navigation menu with 'API 設定' (API Settings) selected. The main content area includes:

- REST API 利用設定**: A section with a sub-header and a note: 'Multiverse Public API (REST API) を利用するために必要な設定情報を取得します。連携サービスの登録は、最大5個まで登録可能です。'
- API 利用情報**: A table with two rows:
 

認可サーバトークンエンドポイント	<a href="https://auth.netlearning.co.jp/connect/token">https://auth.netlearning.co.jp/connect/token</a>
APIリファレンスURL	<a href="https://nlp.netlearning.co.jp/mvpublicapi/docs/api-overview.html">https://nlp.netlearning.co.jp/mvpublicapi/docs/api-overview.html</a>
- 連携サービス一覧**: A table with a '新規登録' (New Registration) button. The table contains one entry:
 

連携サービス名	client_id	client_secret	作成日	削除
システムA	[Redacted]	[Redacted]	2025/12/19 09:19	[Delete Icon]

- ① 新管理者画面 > [企業設定] メニュー > [API 設定] サブメニュー > [REST API 利用設定] タブを選択します。
- ② 「連携サービス一覧」の [新規登録] ボタンをクリックします。
- ③ API で連携したい外部サービスの名称を入力し、[保存] ボタンをクリックします。
- ④ 登録完了後、「連携サービス一覧」に登録内容が表示され、当該サービスで連携するための「client\_id」および「client\_secret」が発行されます。

#### 注意

連携サービス名は登録後に変更できません。十分ご確認のうえご登録ください。

連携サービス名には連携先システム名や利用環境がわかる名称を設定することを推奨します。

<連携サービス一覧の各項目>

項目	説明
連携サービス名	登録した連携サービスの名称。
client_id	連携サービス登録時に自動発行される。  をクリックするとテキストのコピーが可能。 ※認可サーバーからアクセストークンを発行する際に使用。
client_secret	連携サービス登録時に自動発行される。  をクリックでテキストのコピー、  をクリックで内容の表示/非表示の切り替えが可能。 ※認可サーバーからアクセストークンを発行する際に使用。
作成日	連携サービスが登録された日時が表示される。
削除	 をクリックすると登録済みの連携サービスを削除することができる。 ※削除すると、該当サービスに紐づく client_id および client_secret は無効となり、新しいアクセストークンの発行ができなくなります。誤って削除しないようご注意ください。

## 2.2 アクセストークンの発行 **最**

アクセストークンとは、API リソースにアクセスするための認可情報（クレデンシャル）です。

本 API は OAuth2.0 (Client Credentials Grant) に準拠しており、NetLearning の認可サーバーからアクセストークンを取得することで、安全に API を利用できます。

※ 本項では仕組みの理解を目的として概要を説明します。実際のトークン取得処理や API 呼び出しは、連携サービス側（開発担当者）が行います。

### 【アクセストークン発行の流れ】

- ① 連携サービス側のシステムが、「認可サーバートークンエンドポイント」に対して、発行された「client\_id」および「client\_secret」を指定してリクエストを送信します。
- ② 認可サーバーでリクエストが正しく認証されると、アクセストークンが発行されます。
- ③ 連携サービス側のシステムは、取得したアクセストークンを HTTP リクエストのヘッダーに設定し、各 API エンドポイントへリクエストを送信します。  
これにより、認可された API 操作が可能になります。

※ アクセストークンには有効期限があります。有効期限が切れた場合は、連携サービス側で新しいトークンを再発行してください。

### 3 API ドキュメント

本ガイドでは、企業管理者向けに Multiverse Public API を利用するための基本的な設定方法について説明しました。

より詳細な API 仕様や実装方法、利用上の注意点については、新管理者画面 > [企業設定] メニュー > [API 設定] サブメニュー > [REST API 利用設定] タブ > 「API 利用情報」の API リファレンス URL をクリックし、API ドキュメントおよび API リファレンスにてご確認ください。

## 改訂履歴

※ 直近1年以内の改訂を掲載しています。

版	発行日	改訂内容
1.00	2026/1/8	初版